

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 22 年 10 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 22 年 7 月～9 月期の実績および平成 22 年 10 月～12 月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	17 社	56.7%
水産業部会	30 社	11 社	36.7%
機械工業部会	30 社	16 社	53.3%
建設業部会	30 社	17 社	56.7%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	23 社	76.7%
合 計	150 社	84 件	56.0%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

## Ⅱ. 概 況

－業況は前期よりやや改善、次期は悪化の見込み－

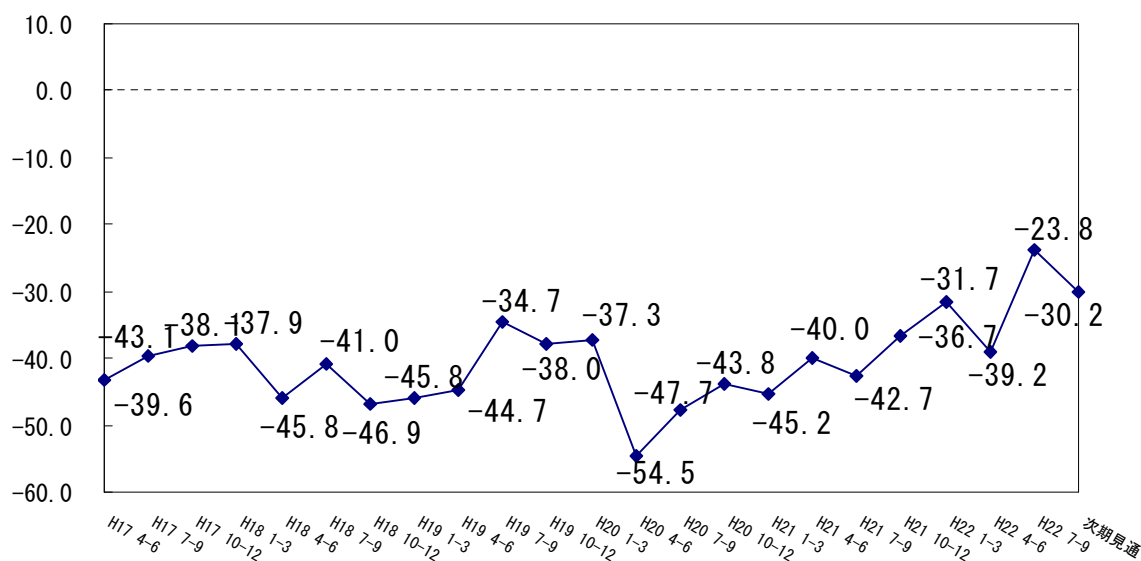
### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成22年7月～9月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比△23.8**と前回調査時の△39.2より**15.4ポイント改善**しました。グラフを見ると平均的には、右上がりの傾向となっており業況の改善の兆しが見えてきたように思えます。また、各業種の各業況値を鑑みますと、主にこれから収穫最盛期を迎える水産業のプラス指数を除けば、全ての業種がマイナス水準であり市内経済を取り巻く経営環境はやや厳しい状況が続いていると見受けられます。

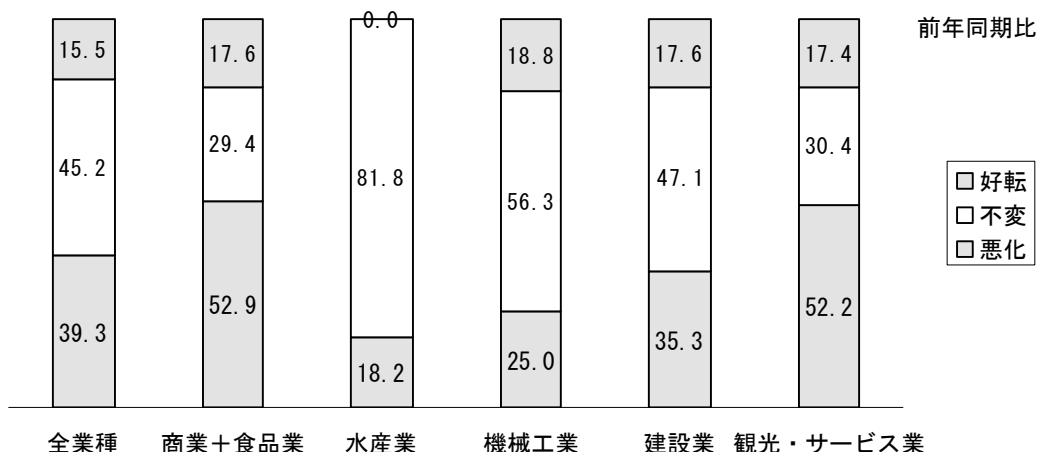
部会別で前年同期比ベースをみると、商業食品業[前期△42.9→今期△35.3]、水産業[前期△38.9→今期△18.2]、機械工業[前期△15.8→今期△6.3]、建設業[前期△47.4→今期△17.6]、観光サービス諸業[前期△50.0→今期△34.8]となりました。水産業は漁の最盛期を迎えホタテが順調なこともあり、また建設業は時期的に繁忙期ということもあり業況は改善しているが、商業食品業は売上が伸びず業況はあまり改善しておりません。また機械工業はここに来て前期の期限切れとなった自動車補助金効果が最終期限を迎えやや改善、観光サービス諸業においては、改善しつつも厳しい数字が続いてさえない状況となっています。景気悪化で全体的に意見が少なくなっている傾向にあると思われまます。

**来期(平成22年10月～12月)**については、今期と比べて**業況判断DIは、やや悪化傾向**になるとの見通しが寄せられ、特に全体的なDI悪化の影響を直接受ける観光サービス業諸業においては、これから繁忙期を迎える年末にむけて業況回復の期待を持ちたいところですが、消費者の財布のひもが固いうちは、苦しい状況が続くとの見方となっています。それと機械工業が自動車補助金の終了で直接売上に響くとの意見も聞かれ非常に厳しい状況が待ち受けると思われています。業種の中でも唯一水産業だけが見通しを改善するという判断で動いておりますが、こちらは最後の追い込みのホタテ・サケの水揚げが順調なことからそのような動きになると見えています。今年**は年度末(11月～2月)にかけ、市内のほぼ全業種で使用できる15%プレミアム付商品券事業を2億3千万円規模で行いますので、その効果が業況の改善に現れてくれることを大きく期待しております。**

## 業況推移 (全業種平均D・I)



## 今期の業況（前年同期比）



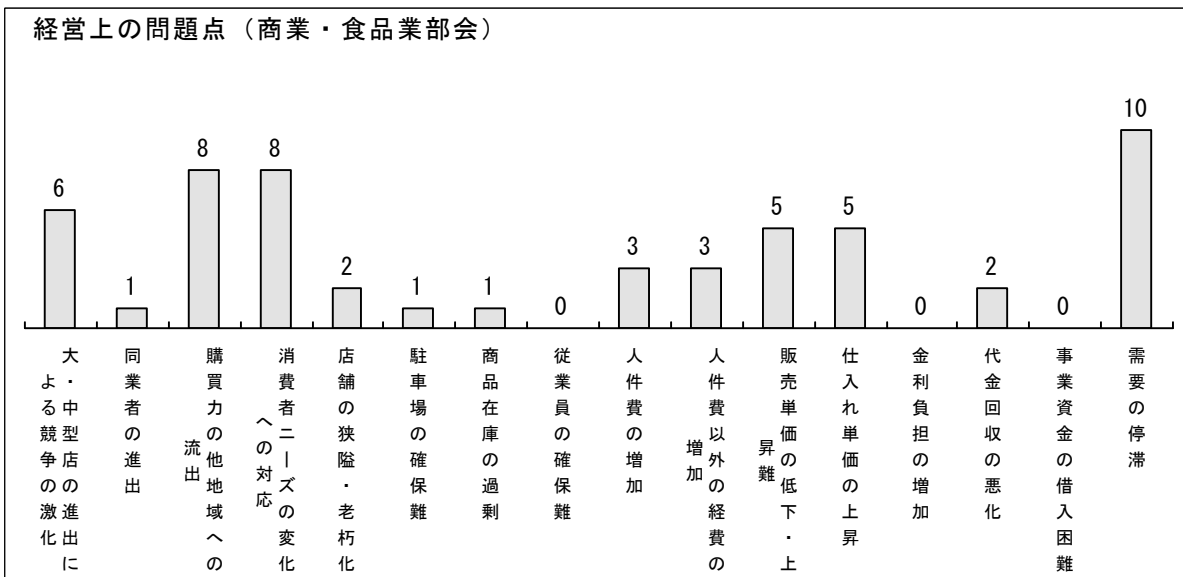
### ■部会別の動向

#### 【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△35.3（前期△42.9、来期見通し△47.1）〕

業況DI値（前年同期比）は、依然としてマイナス値が続き厳しい状況で推移しておりますが、前期よりも業況値は若干改善しています。今年の夏（7～9月）は、気温が上がったが財布のひもは固く消費マインドの回復は見えてきません。またたばこの値上げ前の買い込み需要もあったと報道で聞いておりますが大きな効果は見えていません。次期の見通しについては、年末商戦にむけ回復を期待したいところですが、かえって悪化する状況との見通しとなっております。今後のプレミアム付商品券の売上効果が大きく数字となって現れることを期待します。経営上の問題点としては「需要の停滞」「消費者ニーズの変化への対応」「購買力の他地域への流出」を訴える声が多い。

#### 《業界の問題点等》

- ・ 商店街が日曜日に閉まっている（平日も6時～6：30に閉まっている）※大型店が日曜日や6時に閉まっている事などない！街に人が来ないのもあたりまえ！危機感が商業者にあるのだろうか??（小売）
- ・ タバコ10月1日の値上により今期在庫が過大になり、又、12月まで需要の回復が弱いと判断しております。（小売）



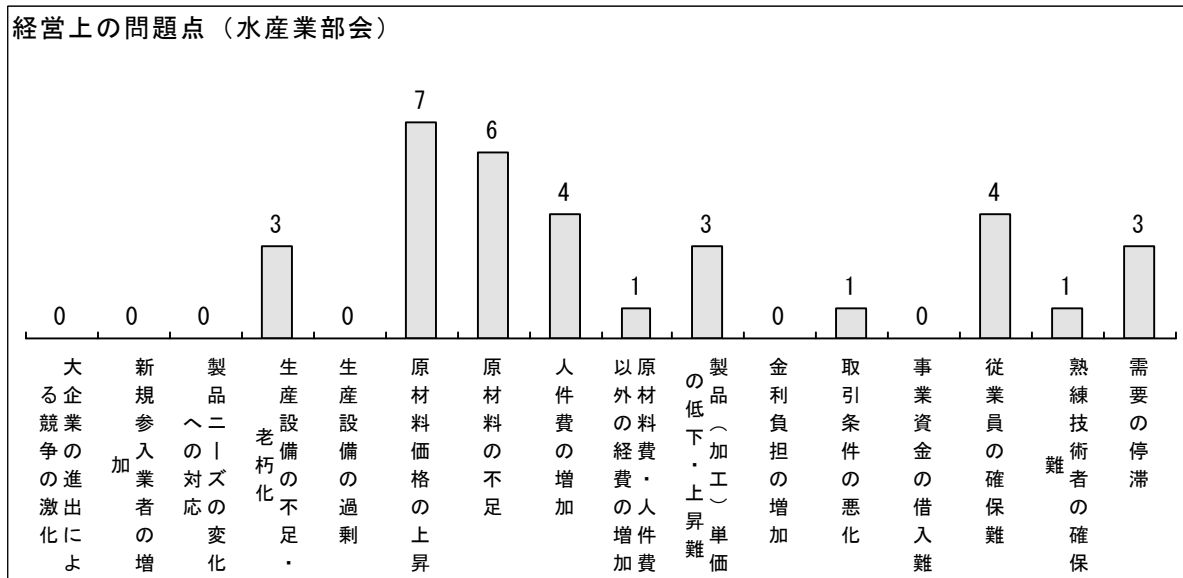
#### 【水産部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△18.2（前期△38.9、来期見通し9.1）〕

業況判断DI値（前年同期比）は前期よりも大きく改善しています。今期の水産業界については、カニの輸入量が昨年実績の50%以下という報道があり、業界は非常に苦戦しているとの

声を聞いております。ただしカニの価格は昨年過去最高の輸入量が続き価格安となっていたが、ここにきて輸入量の半減でカニの取扱単価が普通の状態に戻りつつあるとの話も聞いております。またホタテ・サケの水揚げについては大きな変動は聞いていないので、冬を前にして最盛期をむかえる今後の回復が期待されており、来期の見通しについては良くなるだろうとの見通しを立てております。経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」「原材料の不足」となっております。

《業界の問題点等》

- ・ 売上が伸びなく、停滞状態が長い。(水産加工)
- ・ カニの手配がつかず大変ヒマな状態が続いている (水産加工)

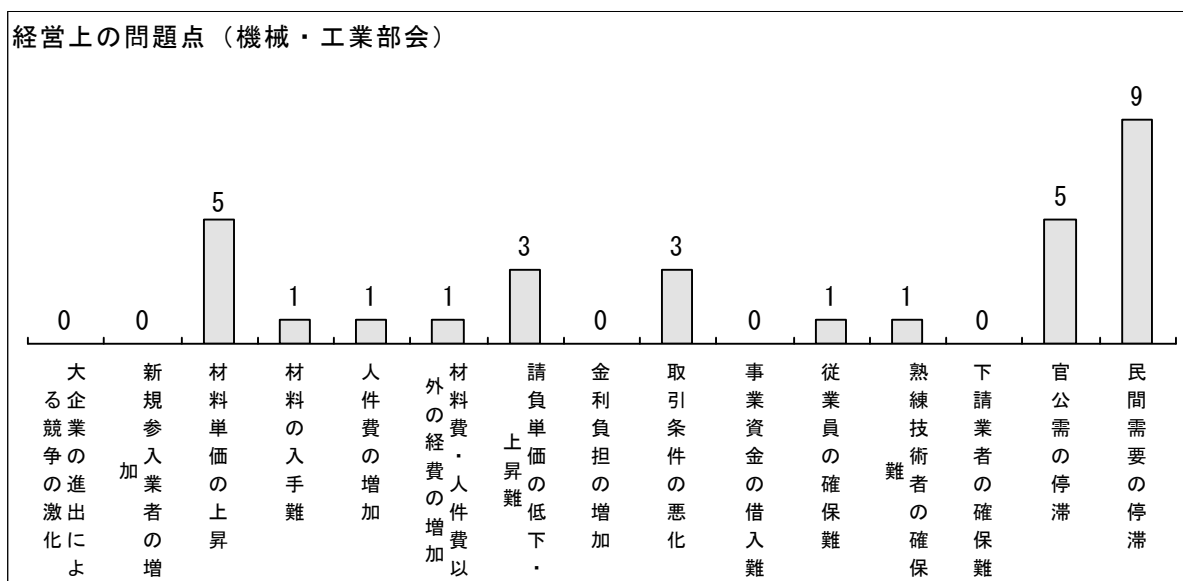


【機械・工業部会】 [業況判断DI値(前年同期比)△6.3(前期△15.8、来期見通し△33.3)]

業況判断DI値(前年同期比)は、前期よりも改善しております。駆け込みによる自動車補助金効果が影響したものと思われ、先行きの見通しについては補助金の終了の懸念から非常に悪い数字で予想されております。経営上の問題点として、「民間需要の停滞」や「官公需の停滞」、「材料単価の上昇」を訴える声が多く寄せられている。

《業界の問題点等》

- ・ 輸入製品との競合、為替の円高。(製造機械)
- ・ エコカー補助金が終わり、10月の売上はさっぱり。非常に厳しい状況です。今後の業界はどうなっていくのか心配です。(自動車販売)

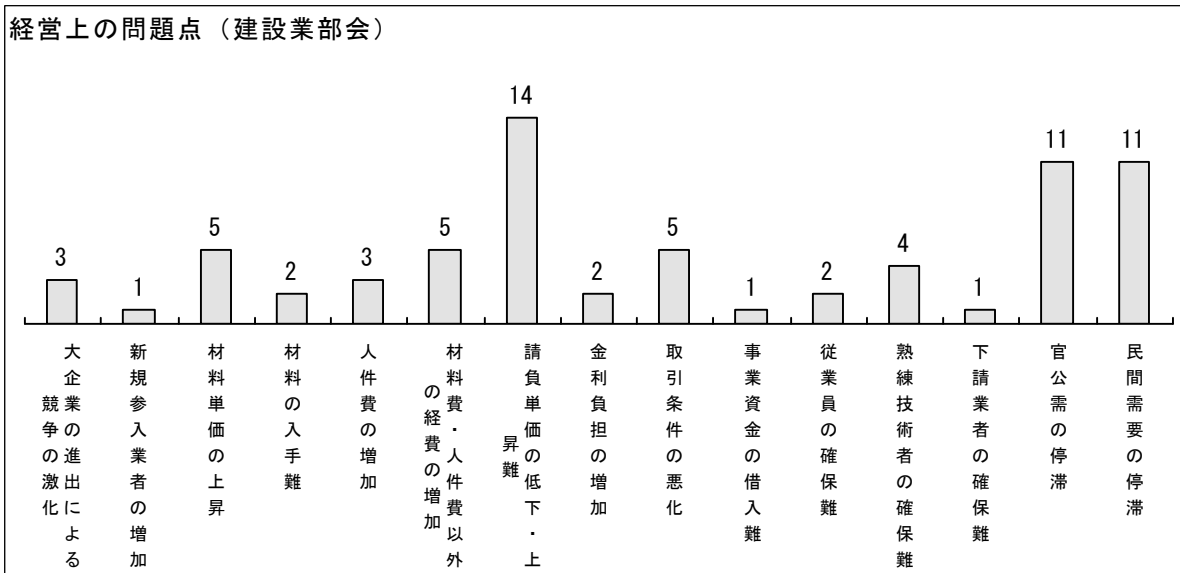


**【建設業部会】** [業況判断DI値（前年同期比）△17.6（前期△47.4、来期見通し△17.6）]

業況判断DI値（前年同期比）は夏の繁忙期を迎え、少し改善した状況となっています。しかしながら来期への見通しは暗く、冬を前に厳しい状況は続いていきます。公共事業の減少は非常に大きく経営にのしかかっているとの声も聞かれます。経営上の問題点としては、「請負単価の低下・上昇難」、「民間・官公需の停滞」など経営収支を圧迫させる内容となっております。

**《業界の問題点等》**

- ・なるべく紋別の業者を使うようになればいいですね。（建設）
- ・材料単価の増加。来期の事を考えると、地元だけに頼れず地方が多くなる。（電気工事）



**【観光・サービス業・諸業部会】** [業況判断DI値（前年同期比）△34.8（前期△50.0、来期見通し△43.5）]

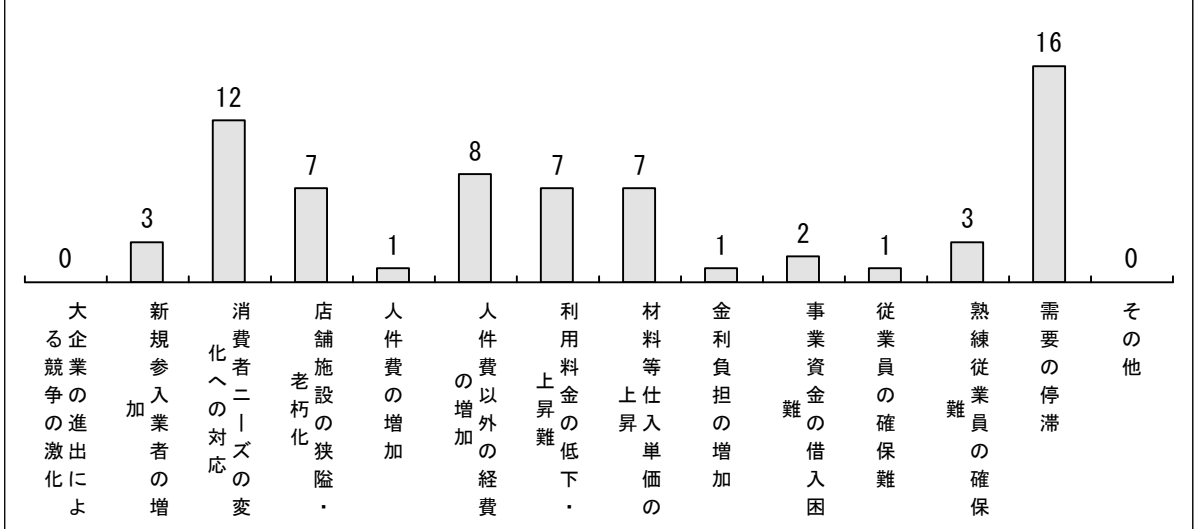
業況判断DI値（前年同期比）は暑い夏の影響や団体の大会が少し開催されたこともあり若干改善しております。来期も依然マイナス水準が変わらず大きな改善は見通せませんが、プレミアム付商品券事業の効果で年末年始の繁忙期に向け若干でも数値が改善されることを期待しております。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」、「消費者ニーズへの変化への対応」「人件費以外の経費の増加」という声が多く寄せられています。

**《業界の問題点等》**

- ・個人の努力ではどうにもならない所まで来ていると思う。（飲食）
- ・マンネリ化（飲食）
- ・薄利多売。お仕事の利益も上がり、喜んで従業員にお金を払う事が出来る様になることが望みですが、今の日本は税金の他、本当に色々大変かと思えます。（飲食）
- ・経営者が若くなく（高年齢）、やる気がなくなってきたように思う。後継者もいるのだけど一つのカマドでの生活は無理になってきた。年金を当てにするようになってきている。（理容）
- ・紋別市内三大ホテル（300人可）近郊含め500人可、大きなイベントが年に3回程あれば少しは街の活性化にプラスになります。（例）商工会議所全道大会、グルメまつり等。誘致して下さい。（飲食）
- ・人口減少（サービス業）

経営上の問題点（観光・サービス業部会）



2. 今期の動向

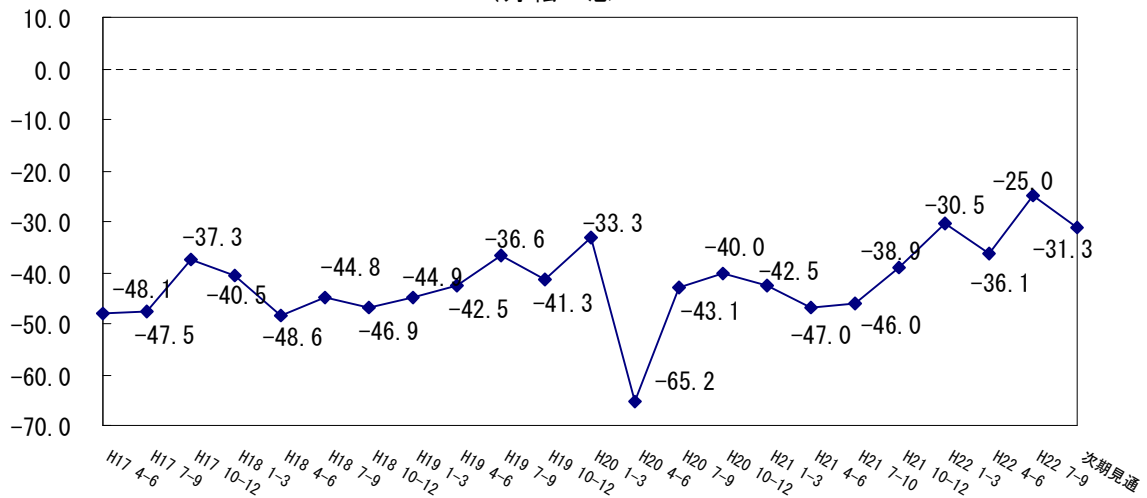
(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成21年7月～9月期の水準と比較した今期の売上高）

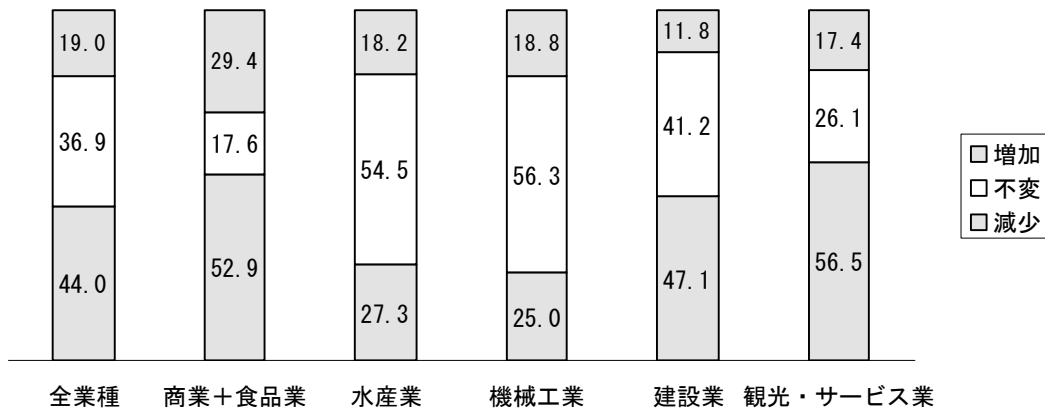
売上状況（全業種平均D・I）

（好転一悪）

前年同期比



### 今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値 $\Delta 25.0$ 〔前回調査時（平成22年4～6月期 $\Delta 36.1$ ）より11.1ポイント改善。〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前回 $\Delta 19.0 \rightarrow \Delta 23.5$ 〕、水産業〔前回 $\Delta 33.3 \rightarrow \Delta 9.1$ 〕  
 機械工業〔前回 $\Delta 10.5 \rightarrow \Delta 6.3$ 〕、建設業〔前回 $\Delta 57.9 \rightarrow \Delta 35.3$ 〕  
 観光・サービス業〔前回 $\Delta 60.0 \rightarrow \Delta 39.1$ 〕

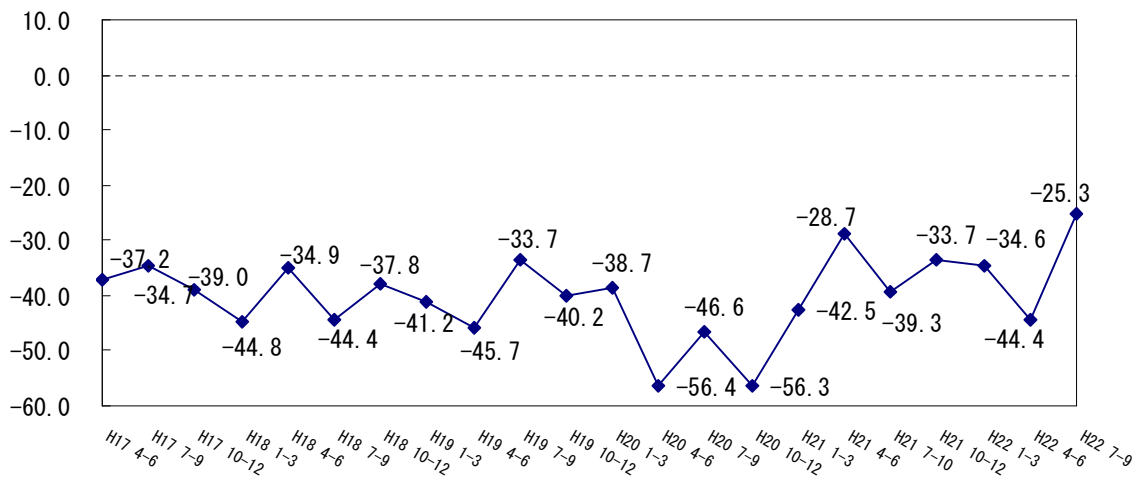
### (2) 今期の採算

【前年同期比】（平成21年7月～9月期の水準と比較した今期の採算水準）

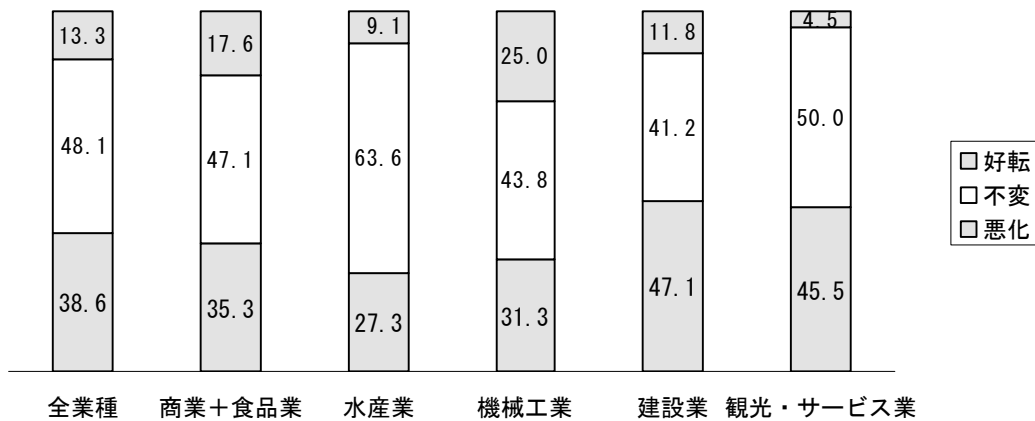
### 採算推移（全業種平均D・I）

（好転－悪化）

前年同期比



### 今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値△25.3〔前回調査時（平成22年4～6月期△44.4）より19.1ポイント改善〕

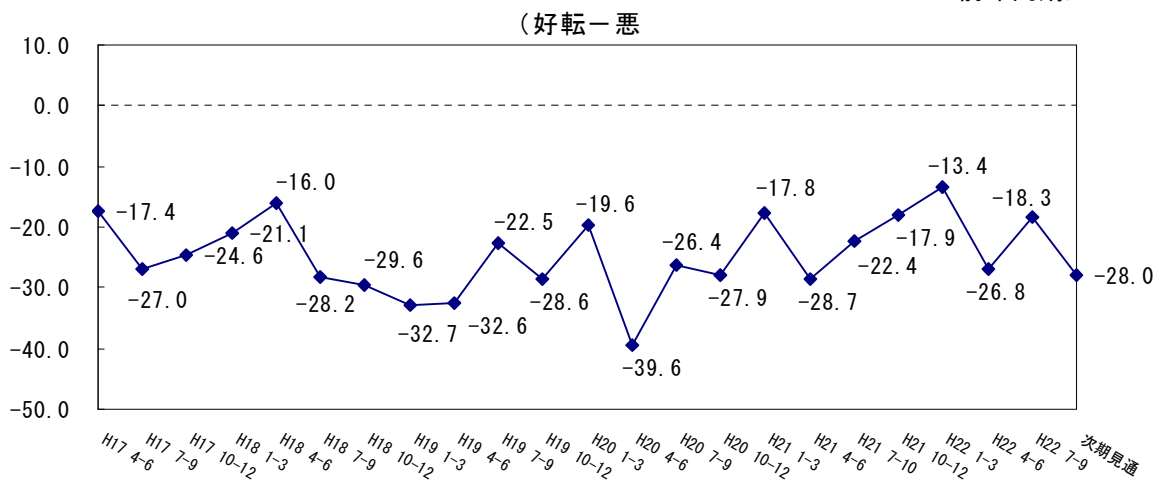
【部会別DI値】 商業・食品業〔前回△38.1→△17.6〕、水産業〔前回△44.4→△18.2〕  
 機械工業〔前回△21.1→△6.3〕、建設業〔前回△57.9→△35.3〕  
 観光・サービス業〔前回△60.0→△40.9〕

### (3) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成21年7月～9月期の水準と比較した今期の資金繰り）

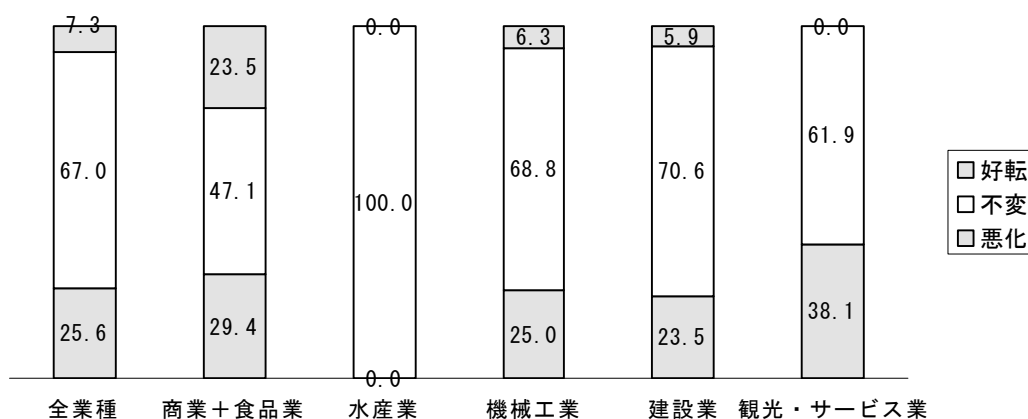
### 今期の資金繰り（全業種平均D・I）

前年同期比





### 今期の資金繰り（前年同期比）



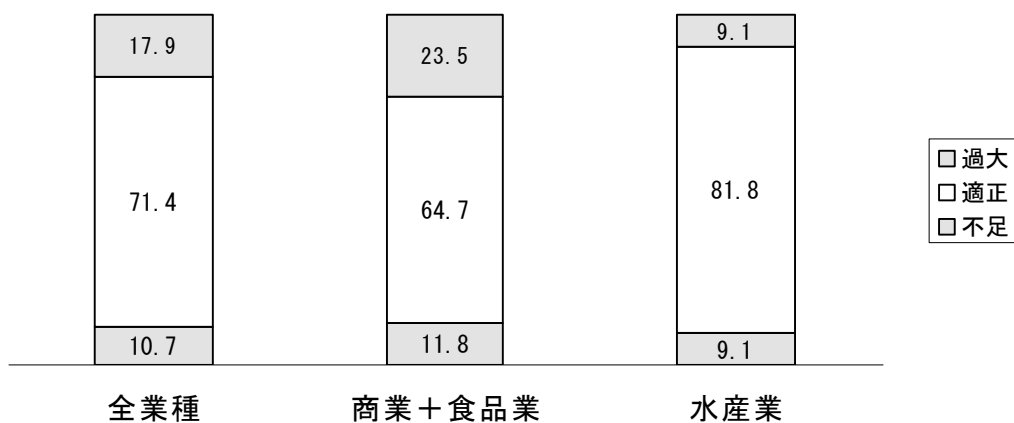
全業種平均でDI値△18.3〔前回調査時（平成22年4～6月期△26.8）より8.5ポイント改善〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回△28.6→△5.9〕、水産業〔前回△9.1→0.0〕  
 機械工業〔前回△5.6→△18.8〕、建設業〔前回△56.0→△17.6〕  
 観光・サービス業〔前回△50.0→△38.1〕

### (4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成21年7月～9月期の水準と比較した今期の在庫水準）

### 今期の在庫水準（前年同期比）

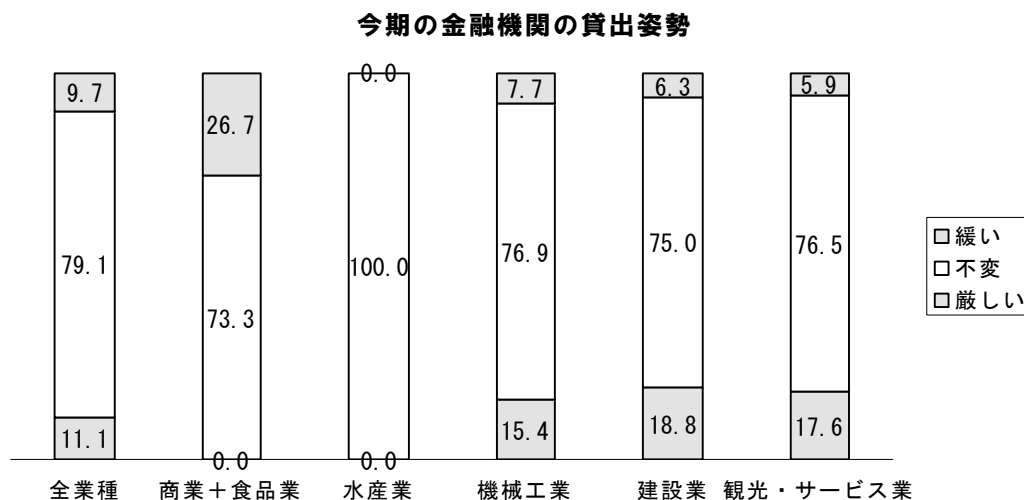


全業種平均でDI値7.2〔前回調査時（平成22年4～6月期△15.3）より8.1ポイント在庫増加〕

[部会別DI値] 商業・食品業〔前回4.8→11.8〕、水産業〔前回△38.9→0.0〕

## (5) 今期の金融機関の貸出姿勢

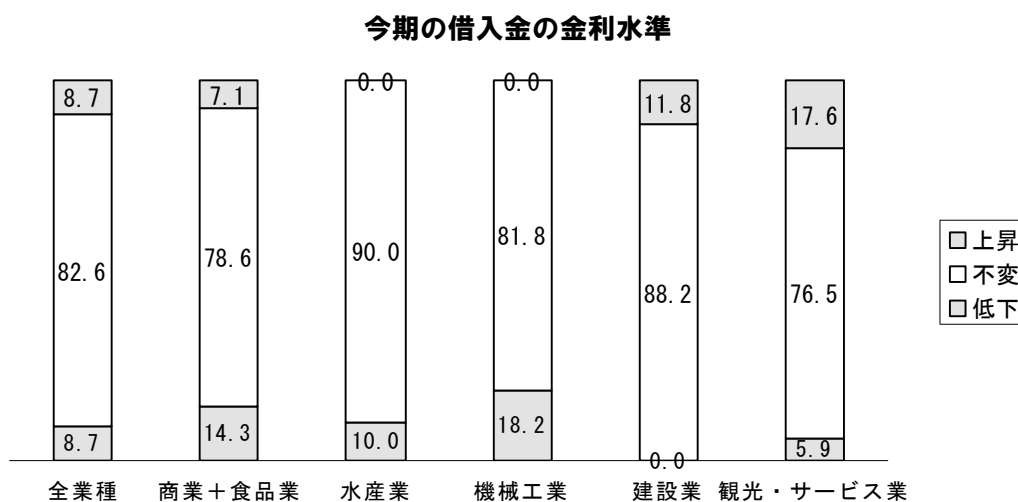
【前年同期比】（平成 21 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）



全業種平均で $\Delta 1.4$ ポイント。商業食品業  $26.7$  水産業  $0.0$  機械工業 $\Delta 7.7$  建設業 $\Delta 12.5$  観光サービス業諸業  $11.8$

## (6) 今期の借入金の金利水準

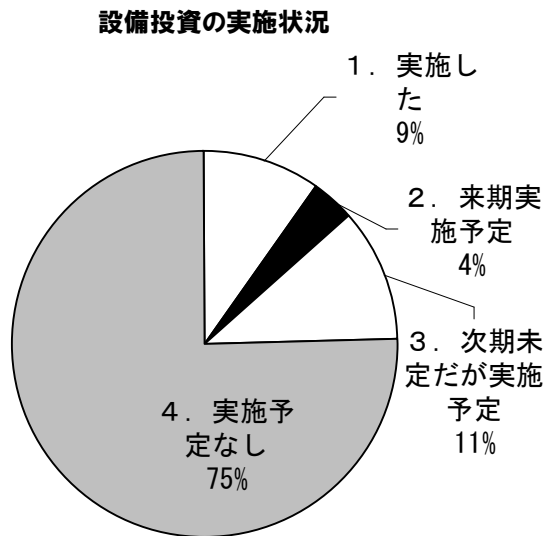
【前年同期比】（平成 21 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で  $0.0$ 。商業食品業 $\Delta 7.1$  水産業 $\Delta 10.0$  機械工業 $\Delta 18.2$  建設業  $11.8$  観光サービス  $11.8$ 。(金利水準が上昇しているとの回答比率が多くプラスの数字となっています)

## (7) 設備投資の実施状況

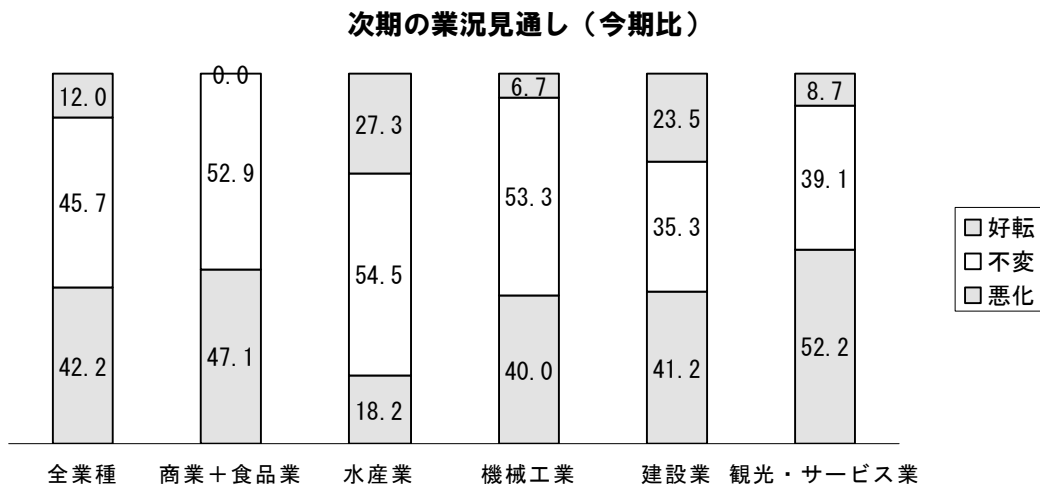
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



## 3. 来期の見通し

### (1) 来期の業況

【今期比】（平成 22 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の業況見通し）

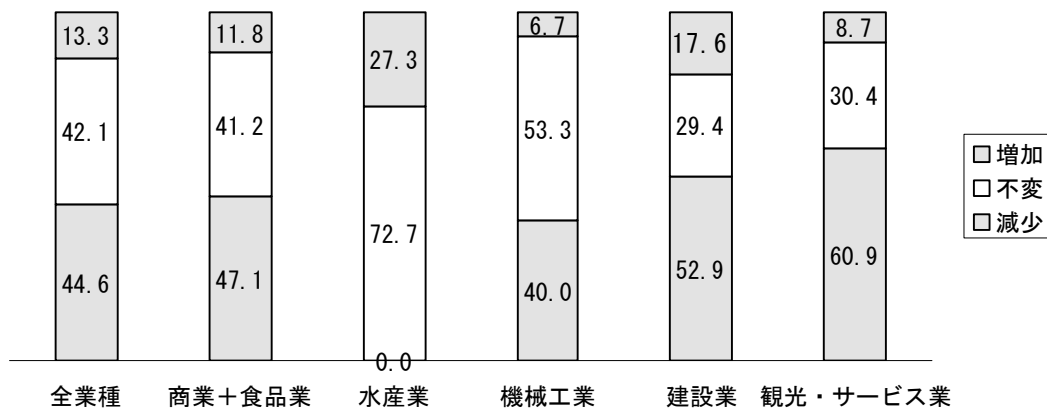


全業種平均 DI 値 $\Delta$ 30.2 [今期の業況（前年同期比 $\Delta$ 23.8）より 6.4 ポイント悪化の見通し]

## (2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 22 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

次期の売上高・生産高見通し（今期比）

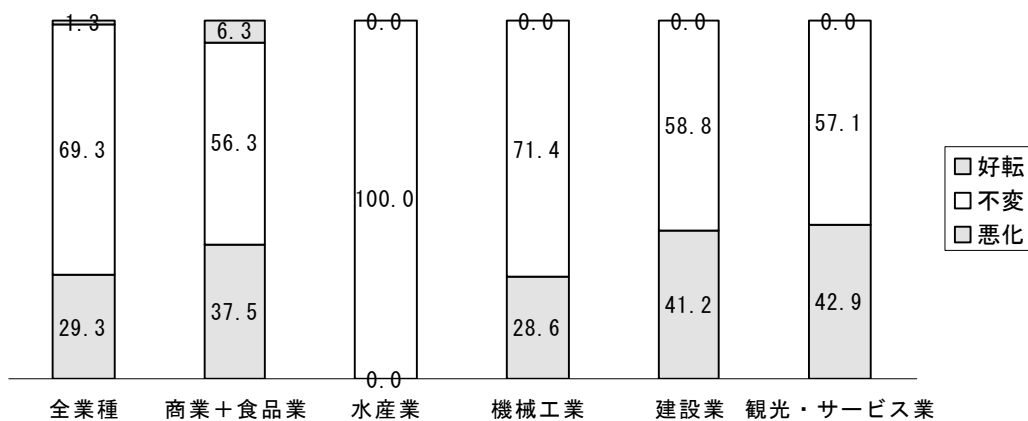


全業種平均 DI 値  $\Delta 31.3$  [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 25.0$ ）より 6.3 ポイント悪化の見通し]

## (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 22 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値  $\Delta 28.0$  [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 18.3$ ）より 9.7 ポイント悪化の見通し]

### Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業 況 判 断 D・I	今 期 実 績	△ 2 3 . 8	△ 3 5 . 3	△ 1 8 . 2	△ 6 . 3	△ 1 7 . 6	△ 3 4 . 8
	来 期 見 通 し	△ 3 0 . 2	△ 4 7 . 1	9 . 1	△ 3 3 . 3	△ 1 7 . 6	△ 4 3 . 5
売 上 D・I	今 期 実 績	△ 2 5 . 0	△ 2 3 . 5	△ 9 . 1	△ 6 . 3	△ 3 5 . 3	△ 3 9 . 1
	来 期 見 通 し	△ 3 1 . 3	△ 3 5 . 3	2 7 . 3	△ 3 3 . 3	△ 3 5 . 3	△ 5 2 . 2
在 庫 D・I	今 期 実 績	7 . 2	1 1 . 8	0 . 0	—	—	—
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今 期 実 績	△ 2 5 . 3	△ 1 7 . 6	△ 1 8 . 2	△ 6 . 3	△ 3 5 . 3	△ 4 0 . 9
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
資 金 繰 り D・I	今 期 実 績	△ 1 8 . 3	△ 5 . 9	0 . 0	△ 1 8 . 8	△ 1 7 . 6	△ 3 8 . 1
	来 期 見 通 し	△ 2 8 . 0	△ 3 1 . 3	0 . 0	△ 2 8 . 6	△ 4 1 . 2	△ 4 2 . 9
金 融 機 関 貸 出 姿 勢 D・I	今 期 実 績	△ 1 . 4	2 6 . 7	0 . 0	△ 7 . 7	△ 1 2 . 5	△ 1 1 . 8
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
借 入 金 金 利 水 準 D・I	今 期 実 績	0 . 0	△ 7 . 1	△ 1 0 . 0	△ 1 8 . 2	1 1 . 8	1 1 . 8
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。